

⑫公開実用新案公報(U)

昭63-27443

⑬Int.Cl.⁴C 03 B 23/023
35/14

識別記号

厅内整理番号

6674-4G
6674-4G

⑭公開 昭和63年(1988)2月23日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑮考案の名称 ガラス板加工用真空吸着ホルダー

⑯実願 昭61-121002

⑰出願 昭61(1986)8月8日

⑱考案者 仲田道春 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾7丁目21

⑲考案者 辻博史 神奈川県横浜市鶴見区下末吉6の11の13

⑳考案者 新井清 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾東台2の27

㉑出願人 旭硝子株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号

㉒代理人 弁理士内田明 外2名

㉓実用新案登録請求の範囲

箱体の下底壁面に複数の吸引孔を有してなるガラス板加工用真空吸着ホルダーにおいて、前記箱体内には、隔壁を介することで独立させた複数の隔室を形成し、それぞれの隔室には各別に制御可能な真空吸引力を保持させたことを特徴とするガラス板用真空吸着ホルダー。

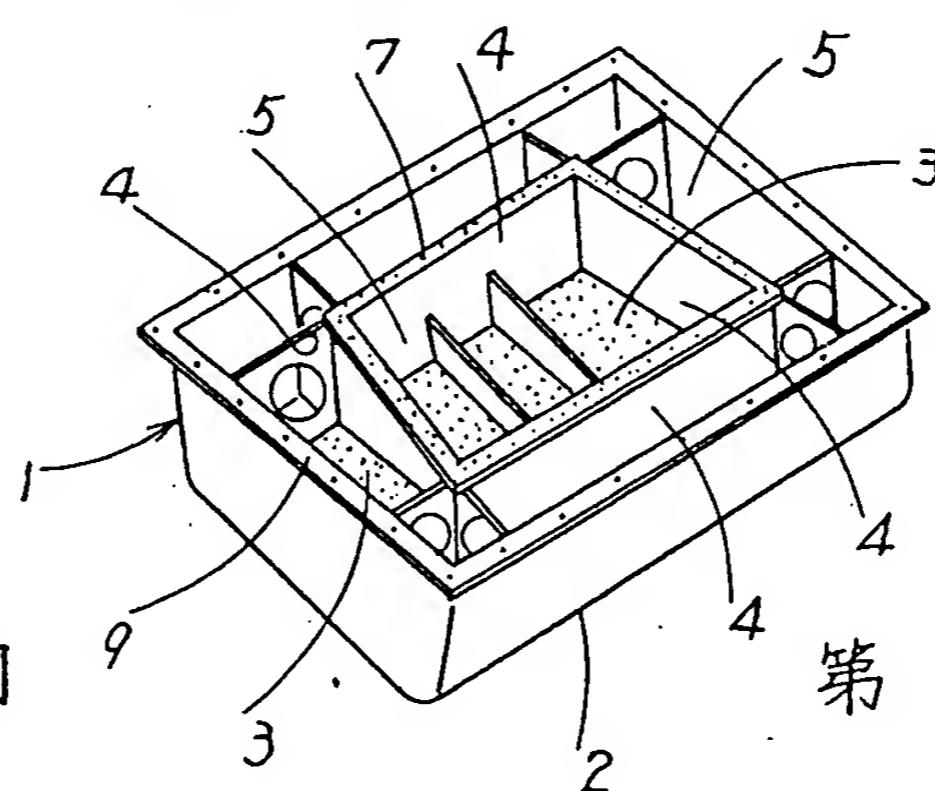
図面の簡単な説明

第1図は本考案における箱体の代表的な内部構

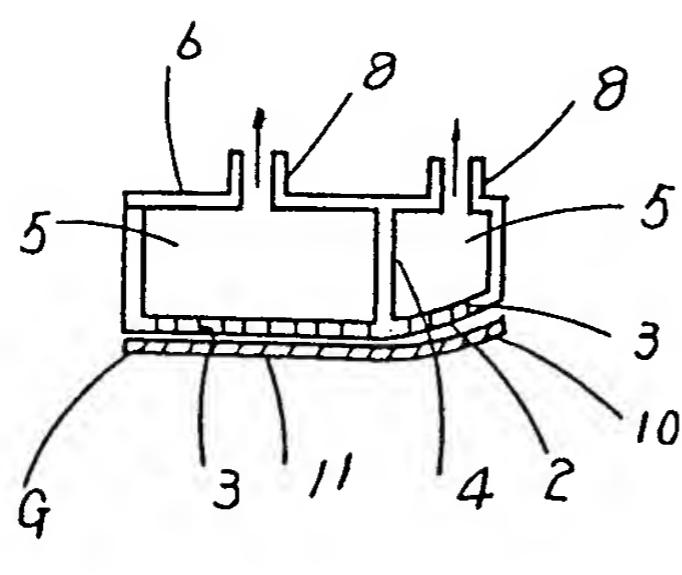
造を示す斜視図、第2図と第3図とは他の実施例を示す側断面図である。

1…箱体、2…下底壁面、3…吸引孔、4…隔壁、5…隔室、6…蓋体、7…シール材、8…接続開口部、9…フランジ、10…湾曲部、11…平坦部、G…ガラス板。

第1図



第2図



第3図

